

(a)日時及び場所

日時:2018年10月26日(金)10:15-12:00

場所:特定非営利活動法人環境市民事務所

(b)理事の総数

14人(うち定足数10人)

(c)出席した理事の氏名(以下、敬称略)

杵本育生、下村委津子、松田直子、石崎雄一郎、嘉田由紀子、加藤良太、瀬口亮子、松下和夫
以上8人。

特定非営利活動法人環境市民定款第40条第1項の規定により表決権を行使した理事は次の通り。

片山雅男、神田浩史、原田紀久子、早瀬昇
以上4人。

同定款第38条の規定により定足数(理事総数の2/3)を満たし、開会した。

(d)議長 杵本育生を指名

(e)議事録署名人 下村委津子、松田直子

(f)議事録作成者 大西康史

以下詳細

(報告事項)

1)「小さき声のカノン」上映会及び守田敏也氏と鎌仲監督トークについて

下村副代表理事より、10月8日に開催したことが報告された。

2)消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワークのクラウドファンドについて

杵本代表理事より、クラウドファンドに挑戦しており、知り合いに声掛けをお願いしたい旨が報告された。

3)環境活動パワーアップ講座について

杵本代表理事より、この講座を実施していることが報告された。

4)新CSR検定について

下村副代表理事より、当該検定の実施結果について報告がなされた。

5) 自治体政策評価オリンピックについて

杵本代表理事より、24自治体の参加のもと、この活動を実施していることが報告された。

(情報共有事項)

杵本代表理事より、下記2点について情報共有がなされた。

1) 今後の主な事業について

2) 会費納入状況の整理について

■付議事項及び決定内容

1) プラスチック資源循環戦略への意見書に対する賛同の可否について

瀬口理事より連絡のあったプラスチック資源循環戦略への意見書に対する賛同の可否について意見が交換された。結果、意見書に賛同するが、それとは別に環境市民としての意見も出すことが、合意された。

2) 組織のあり方について

今後の組織のあり方について意見が交換された。今後議論のためのまとまった時間をとることを計画することとなった。

3) 広報、メディア、コミュニケーションの戦略と手法について

今後の広報等について、意見が交換された。結果、まずはパンフレットを急ぎ作成することについて合意され、終了時間となったため、閉会された。

以上